千葉市科学フェスタ 2022 参加報告

日本保健物理学会　若手研究会　幹事　五十嵐　悠

2022 年 10 月 8 日（土)、9 日（日）の 2 日間、千葉市科学館 Qiball（きぼーる）にて千葉市科学フェスタ 2022 が開催されました。若手研究会と学友会は協同で、「ほうしゃせんを見る？しがいせんで作る？～不思議な放射線の世界～」というテーマで 10 月 8 日の 1 日間ブース出展し、①紫外線によるオリジナルコースター製作、②霧箱による放射線飛跡の観察をおこないました。

①では、参加者にオリジナルのイラストを描いてもらった珪藻土コースター表面に UV レジンを塗布し、紫外線照射によって硬化させることで立体感のあるコースターを製作し、参加者にお持ち帰りいただきました。コースター製作には約 70 組の来場者にご参加いただき、体験時間一杯まで製作いただくなど、大盛況でした。

②では、霧箱により放射線の飛跡を実際に見てもらいました。今年は複数種類の霧箱を使用し、見え方の違いを感じてもらうことが出来ました。また、我々出展者側も運用しやすい霧箱の種類や、見え方の違いによる説明方法の違いなどを検討することができ、今後の霧箱実験へ反映できる知見を得る事ができました。

今回の千葉市科学フェスタも昨年同様に新型コロナ対策のため、来場者の人数や実験の体験時間などが制限されていました。そのような状況下でも、一人でも多くの来場者の方に体験いただけるよう効率化し、かつ一人一人の疑問や質問に丁寧に答えるなど、普段の学会活動とは異なる貴重な経験が出来ました。

また、出展者側の人数も制限されていましたが、他機関に所属する若手同士の交流促進のため幅広く参加者を募集した結果、半数以上の方が初参加となり、新たなネットワークづくりにも繋がりました。

若手研究会は、来年度以降も引き続き千葉市科学フェスタへ出展し、一般の方々や若手メンバー同士の交流をより活発に行っていきたいと考えています。